

**TOYO TIRES**

**2022年度第1四半期  
決算説明資料**

2022年5月12日

**TOYO TIRE 株式会社**

**1. 2022年度 第1四半期実績**

2. 2022年度 第2四半期累計予想

3. 2022年度 通期業績予想

- 米国工場の稼働正常化と旺盛な需要を背景に、**北米市場の販売が好調に推移**

- **為替が円安に推移**したことで、収益面でのプラス効果を楽しむ

- **営業利益は第1四半期としては過去最高\*となる162億円**

- **純利益は四半期ベースで過去最高\*\*となる178億円を計上**

\* 過去最高の第1四半期営業利益 : 127億円 (2021年度)

\* 過去最高の四半期営業利益 : 185億円 (2015年度第3四半期)

\*\*過去最高の四半期純利益 : 125億円 (2021年度第4四半期)

- 今回の実績と直近の見通しを踏まえ、**通期営業利益予想を445→500億円へ**  
**通期純利益予想を 296→385億円へ上方修正**

- 1株あたり配当金を **中間26→30円、期末32→40円、年間58→70円へ増配**

(百万円)	2022年度 1-3月実績	2021年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
売上高	101,773	87,744	+ 14,028	+ 16.0%
営業利益	16,172	12,702	+ 3,470	+ 27.3%
営業利益率	15.9%	14.5%	—	—
経常利益	20,529	16,007	+ 4,522	+ 28.3%
四半期純利益	17,797	12,153	+ 5,644	+ 46.4%

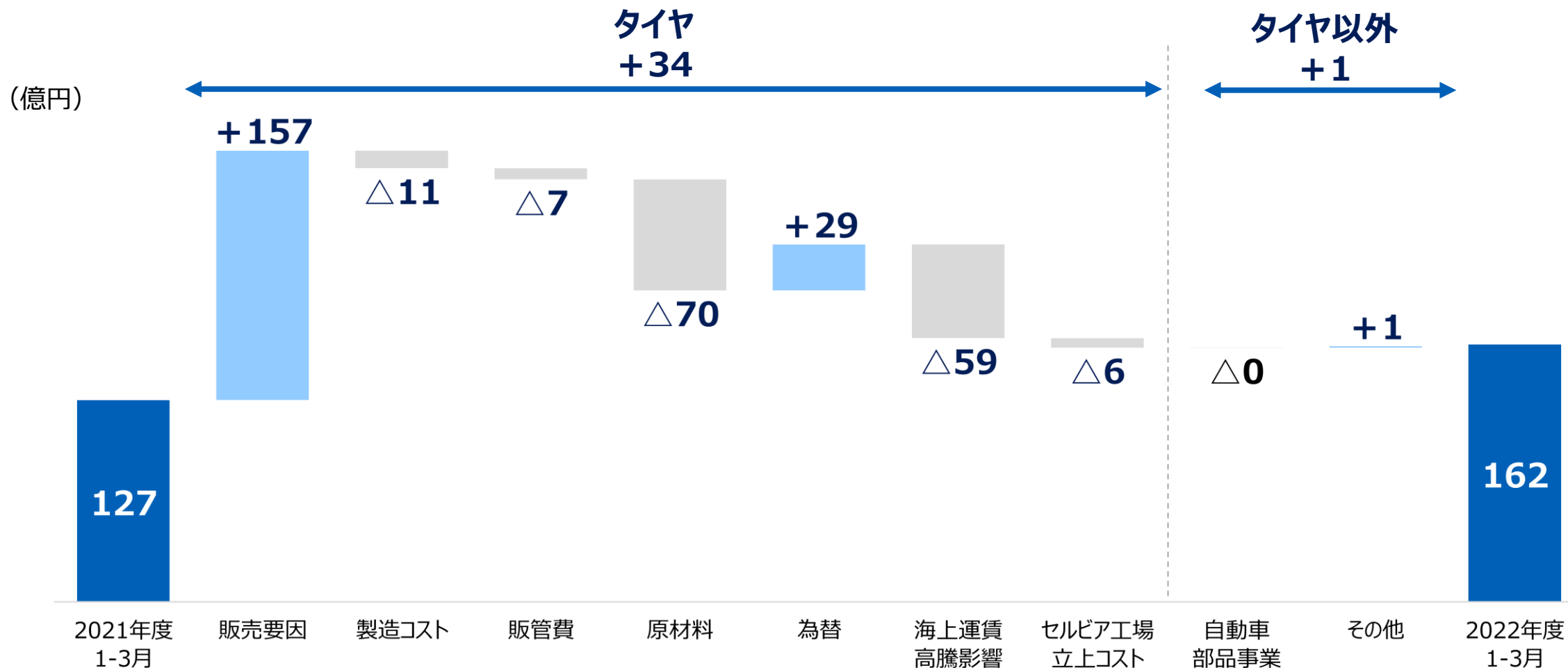
※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

1USドル	115円	105円	+ 10円
1ユーロ	129円	128円	+ 1円

2022年度通期 為替感応度

USドル	7.0億円/年
ユーロ	1.0億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき



2020年度 10-12月実績	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃 高騰影響	セルビア工場 立上コスト	自動車 部品事業	その他	2021年度 10-12月実績
143	+126	+2	△14	△81	+29	△66	-	△5	△0	134

(百万円)

売上高	2022年度 1-3月実績	2021年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
タイヤ	91,600	77,741	+13,858	+17.8%
自動車部品	10,168	9,992	+176	+1.8%
その他	15	27	△11	△44.4%
調整額	△11	△16	+5	-
合計	101,773	87,744	+14,028	+16.0%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2022年度 1-3月実績	2021年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
タイヤ	16,671	13,191	+3,480	+26.4%
営業利益率	18.2%	17.0%	-	-
自動車部品	△494	△479	△14	-
営業利益率	△4.9%	△4.8%	-	-
その他	△2	△3	+1	-
調整額	△1	△5	+3	-
合計	16,172	12,702	+3,470	+27.3%

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

(百万円)

売上高	2022年度 1-3月実績	2021年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
日本	23,156	23,825	△668	△2.8%
北米	63,045	48,836	+14,208	+29.1%
その他	15,572	15,082	+489	+3.2%
消去または全社	—	—	—	—
合計	101,773	87,744	+14,028	+16.0%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2022年度 1-3月実績	2021年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
日本	6,945	7,710	△765	△9.9%
北米	5,339	3,505	+1,833	+52.3%
その他	1,700	1,564	+135	+8.7%
消去または全社	2,187	△78	+2,265	—
合計	16,172	12,702	+3,470	+27.3%

1. 2022年度 第1四半期実績

**2. 2022年度 第2四半期累計予想**

3. 2022年度 通期業績予想



# 2022年度第2四半期累計 連結業績予想

(百万円)	2022年度 1-6月予想	2021年度 1-6月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月前回予想	対前回予想 増減額	2022年度 4-6月予想	対前年度 増減額
売上高	219,000	186,392	+32,607	+17.5%	215,700	+3,300	117,226	+18,578
営業利益	26,500	26,958	△458	△1.7%	20,100	+6,400	10,327	△3,928
営業利益率	12.1%	14.5%	—	—	9.3%	—	8.8%	—
経常利益	30,000	29,219	+780	+2.7%	20,100	+9,900	9,470	△3,742
四半期純利益	24,000	20,673	+3,326	+16.1%	13,300	+10,700	6,202	△2,318

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

1株あたり 中間配当金	30円	20円	+10円	—
----------------	-----	-----	------	---

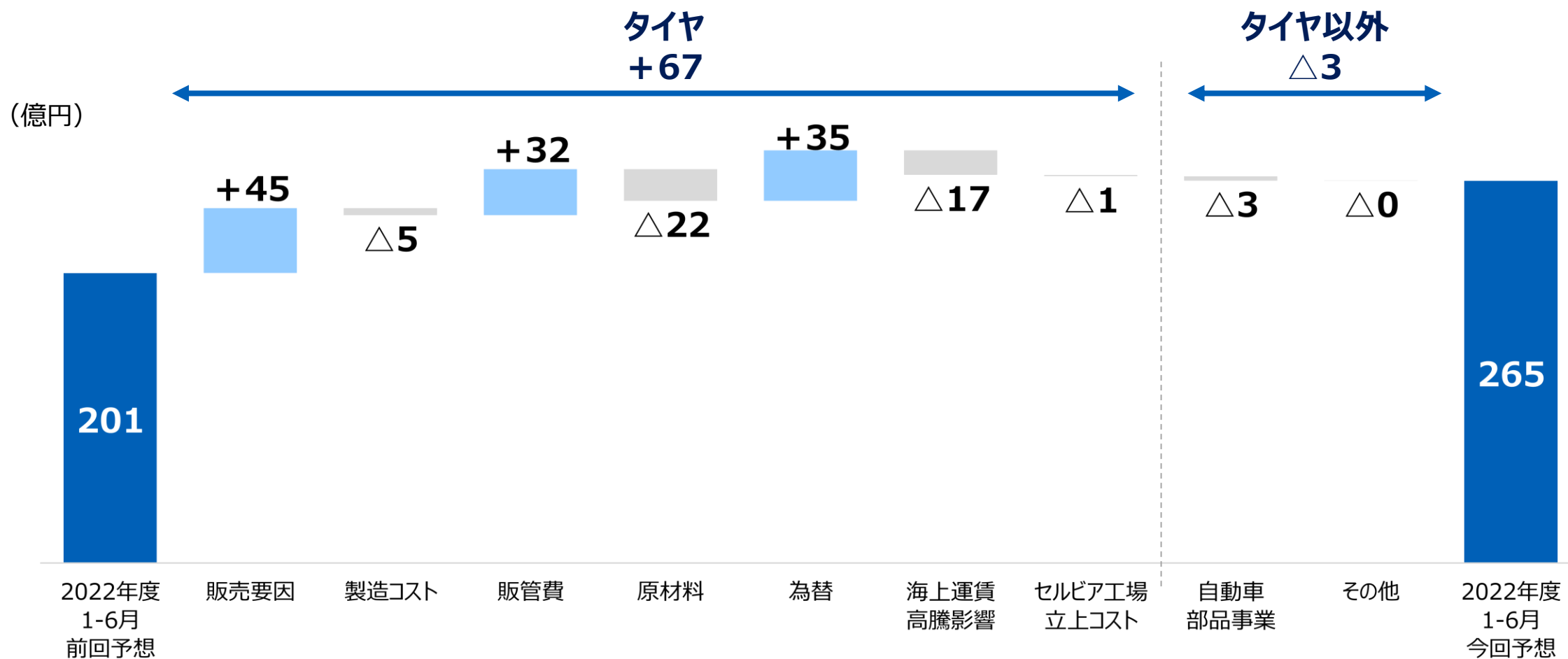
1USドル	120円	107円	+13円
1ユーロ	133円	130円	+3円

2022年度通期 為替感応度

USドル	7.0億円/年
ユーロ	1.0億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき

# 2022年度第2四半期累計 営業利益増減要因予想



	2021年度 1-6月実績	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	2022年度 1-6月予想
今回予想	270	+245	△20	△10	△146	+56	△112	△15	△3	△0	265
前回予想		+201	△16	△42	△124	+21	△95	△14	+0	△0	201

(百万円)

売上高	2022年度 1-6月予想	2021年度 1-6月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月前回予想	対予想 増減額	2022年度 4-6月予想	対前年度 増減額
タイヤ	198,000	166,488	+31,511	+18.9%	192,000	+6,000	106,399	+17,652
自動車部品	21,000	19,884	+1,115	+5.6%	23,700	△2,700	10,831	+938
その他	0	47	△47	-	0	0	△4	△23
調整額	0	△28	+28	-	0	0	0	+11
合計	219,000	186,392	+32,607	+17.5%	215,700	+3,300	117,226	+18,578

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2022年度 1-6月予想	2021年度 1-6月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月前回予想	対予想 増減額	2022年度 4-6月予想	対前年度 増減額
タイヤ	27,700	27,888	△188	△0.7%	21,000	+6,700	11,027	△3,669
営業利益率	14.0%	16.8%	-	-	10.9%	-	10.4%	-
自動車部品	△1,200	△938	△261	-	△900	△300	△705	△246
営業利益率	△5.7%	△4.7%	-	-	△3.8%	-	△6.5%	-
その他	0	16	△16	-	0	0	5	△15
調整額	0	△7	+7	-	0	0	0	+2
合計	26,500	26,958	△458	△1.7%	20,100	+6,400	10,327	△3,928

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

(百万円)

売上高	2022年度 1-6月予想	2021年度 1-6月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月前回予想	対予想 増減額	2022年度 4-6月予想	対前年度 増減額
日本	48,500	47,452	+1,047	+2.2%	48,900	△400	25,343	+1,715
北米	139,800	109,035	+30,764	+28.2%	132,600	+7,200	76,754	+16,555
その他	30,700	29,903	+796	+2.7%	34,200	△3,500	15,127	+307
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	219,000	186,392	+32,607	+17.5%	215,700	+3,300	117,226	+18,578

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2022年度 1-6月予想	2021年度 1-6月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月前回予想	対予想 増減額	2022年度 4-6月予想	対前年度 増減額
日本	15,200	15,745	△545	△3.5%	11,300	+3,900	8,255	+220
北米	9,100	8,104	+995	+12.3%	6,300	+2,800	3,761	△838
その他	1,500	2,710	△1,210	△44.6%	1,400	+100	△200	△1,345
消去または全社	700	397	+302	+76.3%	1,100	△400	△1,487	△1,963
合計	26,500	26,958	△458	△1.7%	20,100	+6,400	10,327	△3,928

1. 2022年度 第1四半期実績
2. 2022年度 第2四半期累計予想
- 3. 2022年度 通期業績予想**

(百万円)	2022年度 1-12月予想	2021年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-12月前回予想	対予想 増減額	2022年度 7-12月予想	対前年度 増減額
売上高	485,000	393,647	+91,352	+23.2%	455,000	+30,000	266,000	+58,744
営業利益	50,000	53,080	△3,080	△5.8%	44,500	+5,500	23,500	△2,622
営業利益率	10.3%	13.5%	—	—	9.8%	—	8.8%	—
経常利益	53,000	55,909	△2,909	△5.2%	44,600	+8,400	23,000	△3,689
当期純利益	38,500	41,350	△2,850	△6.9%	29,600	+8,900	14,500	△6,177

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株あたり 年間配当金	70円	76円	△6円	—
----------------	-----	-----	-----	---

中計'21  
重要経営指標

連結営業利益率

14%超

配当方針

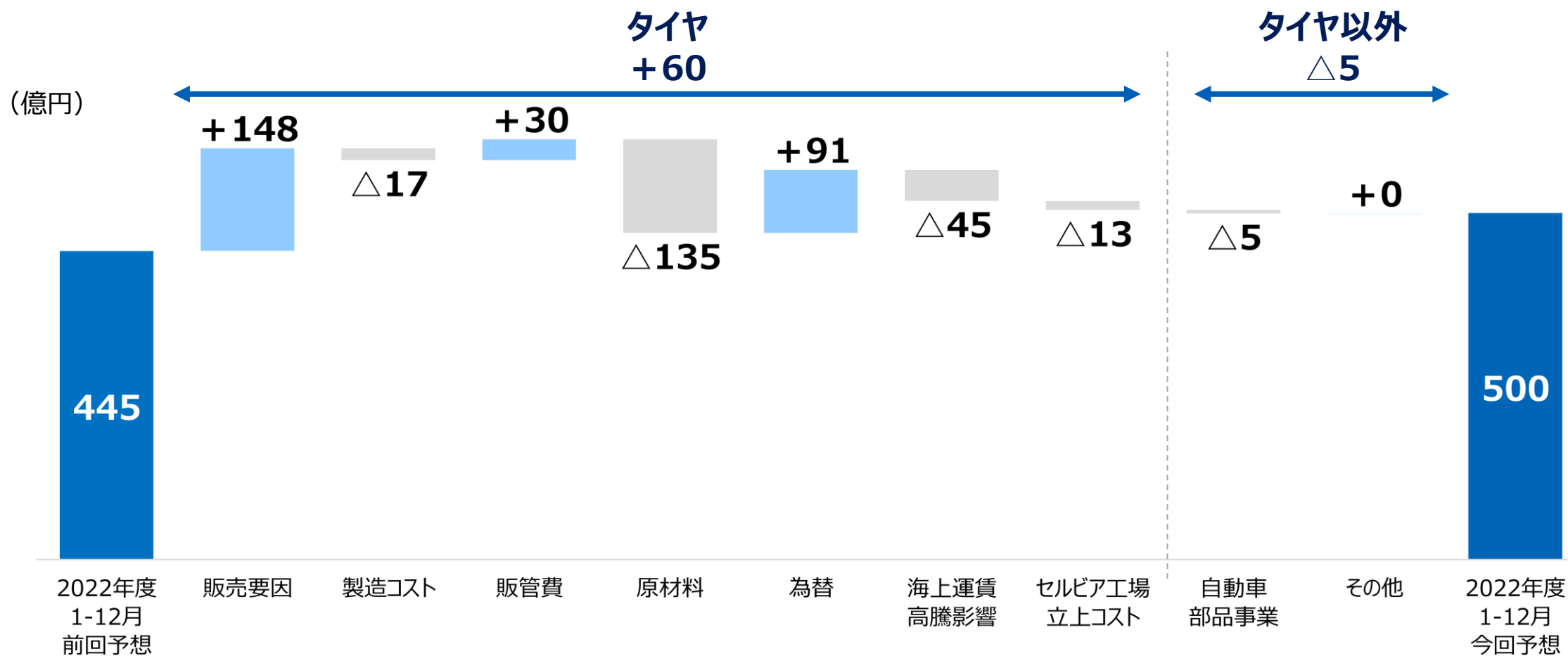
配当性向 30%以上

1USドル	122円	110円	+12円
1ユーロ	134円	130円	+4円

2022年度通期 為替感応度

USドル	7.0億円/年
ユーロ	1.0億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき



	2021年度 1-12月実績	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	2022年度 1-12月予想
今回予想	531	+454	△2	△43	△275	+108	△226	△46	+0	+0	500
前回予想		+305	+15	△73	△140	+17	△181	△34	+5	+0	445

(百万円)

売上高	2022年度 1-12月予想	2021年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-12月前回予想	対予想 増減額	2022年度 7-12月予想	対前年度 増減額
タイヤ	440,000	354,641	+85,358	+24.1%	408,000	+32,000	242,000	+53,847
自動車部品	45,000	38,979	+6,020	+15.4%	47,000	△2,000	24,000	+4,905
その他	0	79	△79	—	0	0	0	△32
調整額	0	△51	+51	—	0	0	0	+23
合計	485,000	393,647	+91,352	+23.2%	455,000	+30,000	266,000	+58,744

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2022年度 1-12月予想	2021年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-12月前回予想	対予想 増減額	2022年度 7-12月予想	対前年度 増減額
タイヤ	52,000	55,089	△3,089	△5.6%	46,000	+6,000	24,300	△2,901
営業利益率	11.8%	15.5%	—	—	11.3%	—	10.0%	—
自動車部品	△2,000	△2,008	+8	—	△1,500	△500	△800	+269
営業利益率	△4.4%	△5.2%	—	—	△3.2%	—	△3.3%	—
その他	0	14	△14	—	0	0	0	+2
調整額	0	△15	+15	—	0	0	0	+8
合計	50,000	53,080	△3,080	△5.8%	44,500	+5,500	23,500	△2,622

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。



(百万円)

売上高	2022年度 1-12月予想	2021年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-12月前回予想	対予想 増減額	2022年度 7-12月予想	対前年度 増減額
日本	116,500	104,168	+12,331	+11.8%	112,700	+3,800	68,000	+11,284
北米	305,800	229,318	+76,481	+33.4%	276,200	+29,600	166,000	+45,717
その他	62,700	60,161	+2,538	+4.2%	66,100	△3,400	32,000	+1,742
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	485,000	393,647	+91,352	+23.2%	455,000	+30,000	266,000	+58,744

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2022年度 1-12月予想	2021年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-12月前回予想	対予想 増減額	2022年度 7-12月予想	対前年度 増減額
日本	32,200	28,942	+3,257	+11.3%	30,000	+2,200	17,000	+3,803
北米	19,500	17,057	+2,442	+14.3%	13,100	+6,400	10,400	+1,447
その他	△900	4,920	△5,820	—	2,000	△2,900	△2,400	△4,610
消去または全社	△800	2,159	△2,959	—	△600	△200	△1,500	△3,262
合計	50,000	53,080	△3,080	△5.8%	44,500	+5,500	23,500	△2,622



A.T.O.M.工法での生産

アグレッシブデザイン&耐久力=高品質

顧客ニーズを捉えた商品ラインアップ



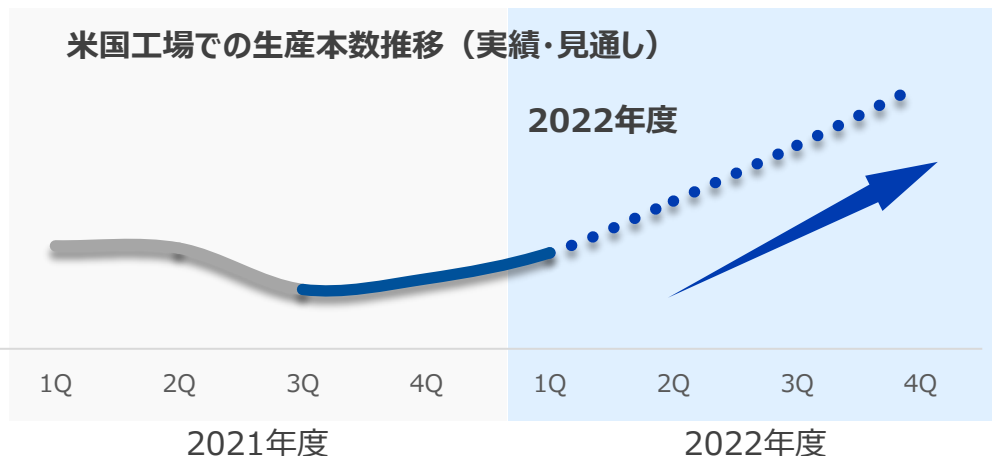
NOMAD GRAPPLER CELSIUS Sport



北米工場は適正数のワーカー採用により、高い稼働率を維持

第5期第2次増強設備をはじめWLTR\*生産設備のフル稼働継続により、バックオーダーの早期解消へ

※・・・ワイドライトトラック用タイヤ



2018年

特定エリアでTOYOブランドを専売していたローカルディーラーとの取引条件見直しを機に

複数の全米ディーラーに対しTOYOブランド拡充を打診し全米での取扱いが増加

2019年～

TOYOブランド品を「売りたい」ディーラーと「買いたい」ユーザーへ展開した結果、全米取扱小売店舗数が7倍に拡大

2021年北米売上ランキング

5位達成

約5,500店

約40,000店

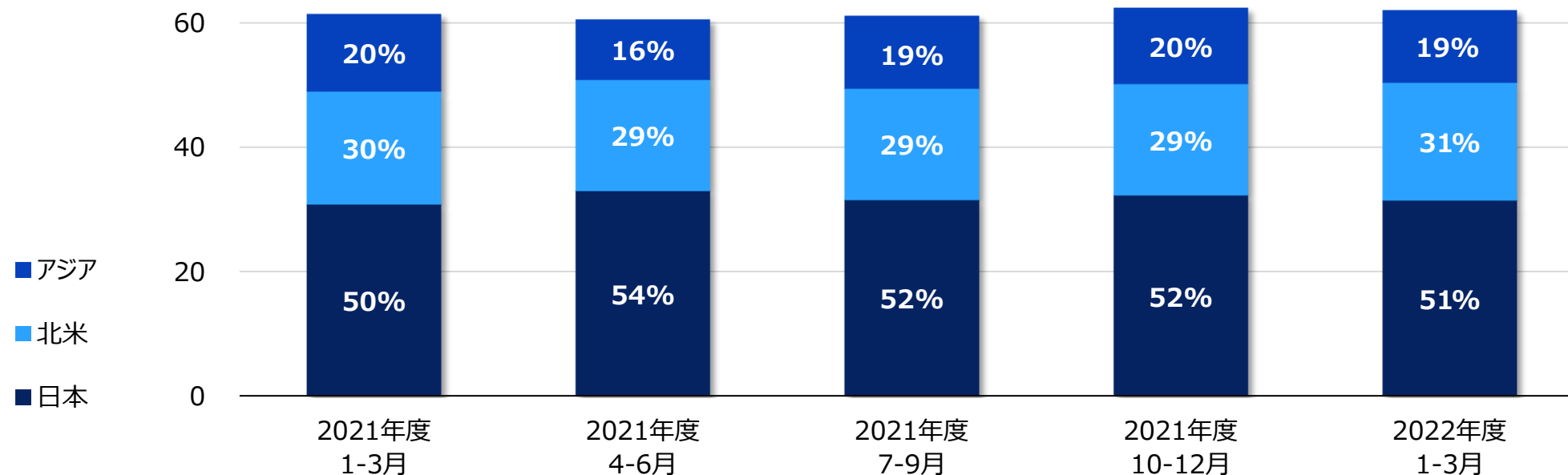
TOYO TIRES

NITTO

資本的支出を伴わない商品力・ブランド力・販売力で  
下方抵抗力のあるレジリエントな顧客基盤を形成

## 地域別生産量構成比

(千トン)



	2021年度					2022年度 1-3月実績	2022年度 1-6月予想	2022年度 1-12月予想	2022年度 1-12月 前回予想
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月				
日本	30.9	33.0	31.6	32.3	127.7	31.5	63.9	129.7	131.8
北米	18.2	17.9	17.9	17.9	71.9	19.0	38.8	79.9	77.4
アジア	12.4	9.7	11.7	12.2	46.0	11.7	23.5	48.3	48.0
欧州	—	—	—	—	—	—	—	2.7	2.7
<b>合計</b>	61.5	60.6	61.2	62.4	245.7	62.1	126.1	260.6	259.9
前年比率	107%	176%	108%	98%	116%	101%	103%	106%	106%

	2021年度					2022年度 1-3月実績	2022年度 1-12月予想	2022年度 1-12月 前回予想
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月			
(%)								
国内外新車	103	210	76	86	104	<b>87</b>	<b>120</b>	129
国内市販	108	105	97	103	103	<b>102</b>	<b>104</b>	102
海外市販	101	133	87	102	103	<b>95</b>	<b>98</b>	102
北米	125	133	93	104	111	<b>107</b>	<b>111</b>	109
欧州	74	163	76	123	97	<b>81</b>	<b>74</b>	95
東南アジア	76	92	46	66	68	<b>78</b>	<b>81</b>	85
合計	102	135	87	99	103	<b>95</b>	<b>102</b>	106



## TRANPATH IMPZ

(2022年1月発売)

- 雨の日でもしっかり走れるミニバン専用タイヤ
- ミニバン専用タイヤの特長として長年培ってきたロングライフとふらつき抑制の基本性能を踏襲し、**摩耗性能と雨の日などにおけるウェット性能を向上\*** \*当社従来品比

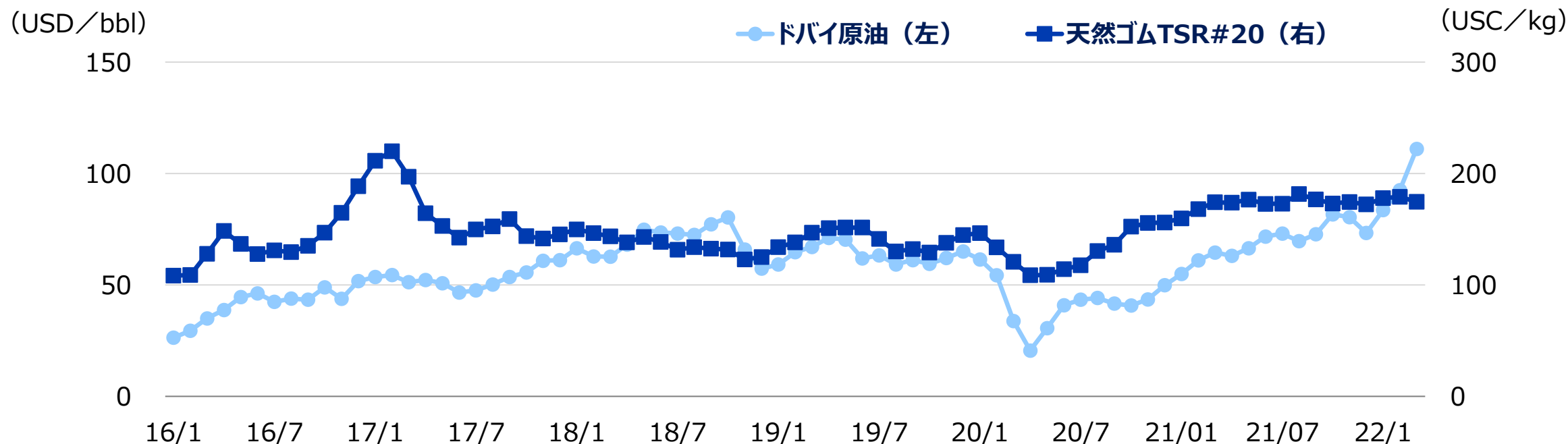


## PROXES TR1

(2022年5月発売)

- アグレッシブなデザインとグリップ性能を両立したスポーティータイヤ
- 街乗りやワインディングの多い道路などでスポーティーな走行を楽しめるとともに、ドレスアップやカスタムを楽しみたいユーザーにも適した製品
- スタイリッシュでアグレッシブな非対称デザインのトレッドパターンを採用し、デザイン性も重視

## ドバイ原油・天然ゴムTSR#20価格推移 (SICOM)



## 価格変動影響額 (営業利益ベース)

(億円)	2021年度					2022年度 1-3月実績	2022年度 1-12月予想	2022年度 1-12月 前回予想
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月			
天然ゴム	△6	△12	△16	△13	△47	△1	△7	△15
石化品	+4	△19	△43	△52	△110	△39	△169	△74
その他原材料	+1	△7	△10	△17	△33	△30	△99	△51
<b>合計</b>	<b>△2</b>	<b>△37</b>	<b>△70</b>	<b>△81</b>	<b>△190</b>	<b>△70</b>	<b>△275</b>	<b>△140</b>

## 設備投資

**2022年度計画**

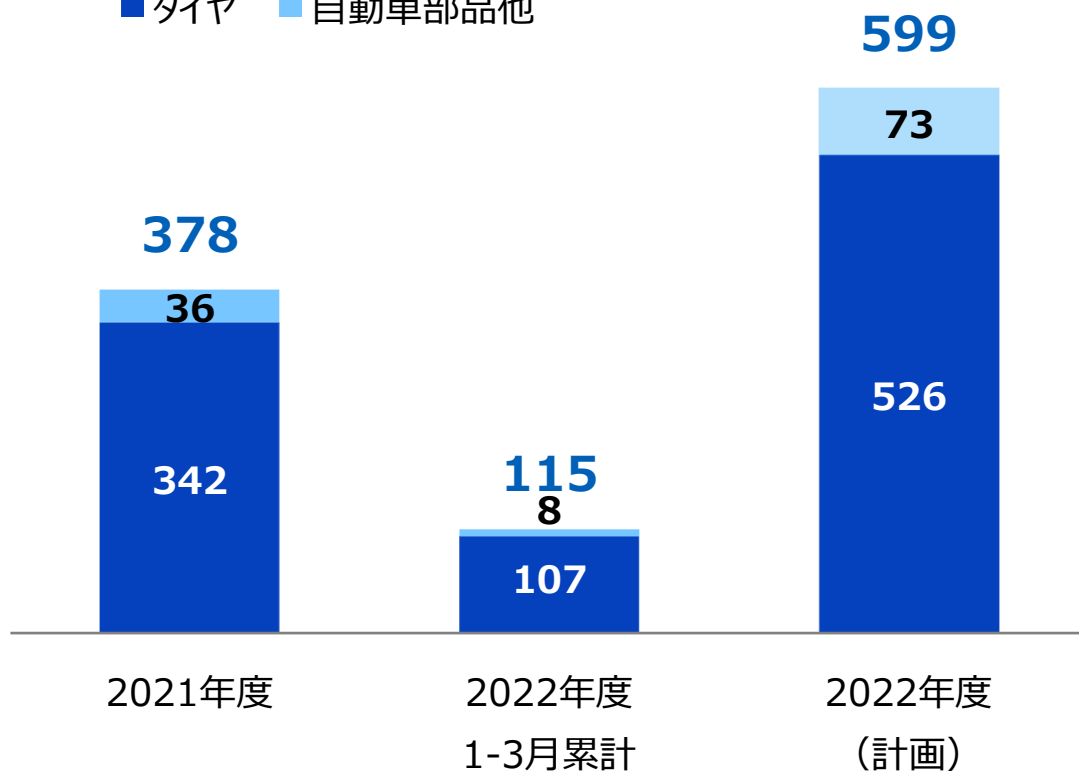
**設備投資額：599億円**

---

第1四半期時点実行率 = **19.2%**  
(内、タイヤ：20.3%/自動車部品他：11.6%)

(億円)

■ タイヤ ■ 自動車部品他



## 減価償却費

**2022年度計画**

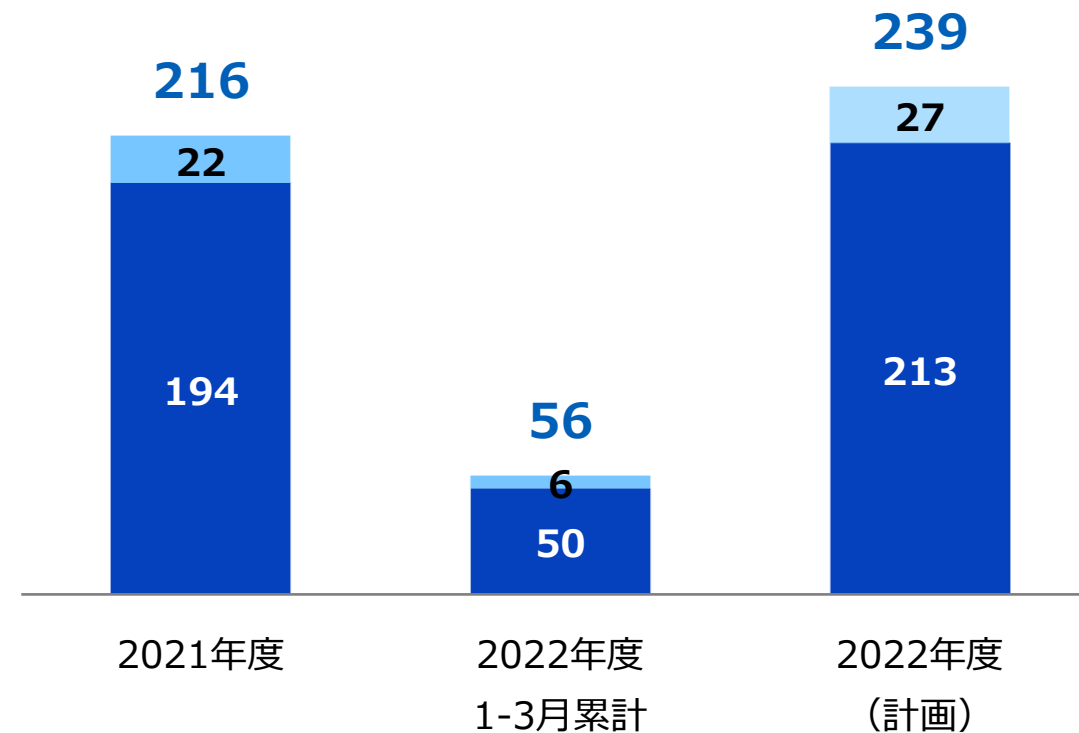
**減価償却費：239億円**

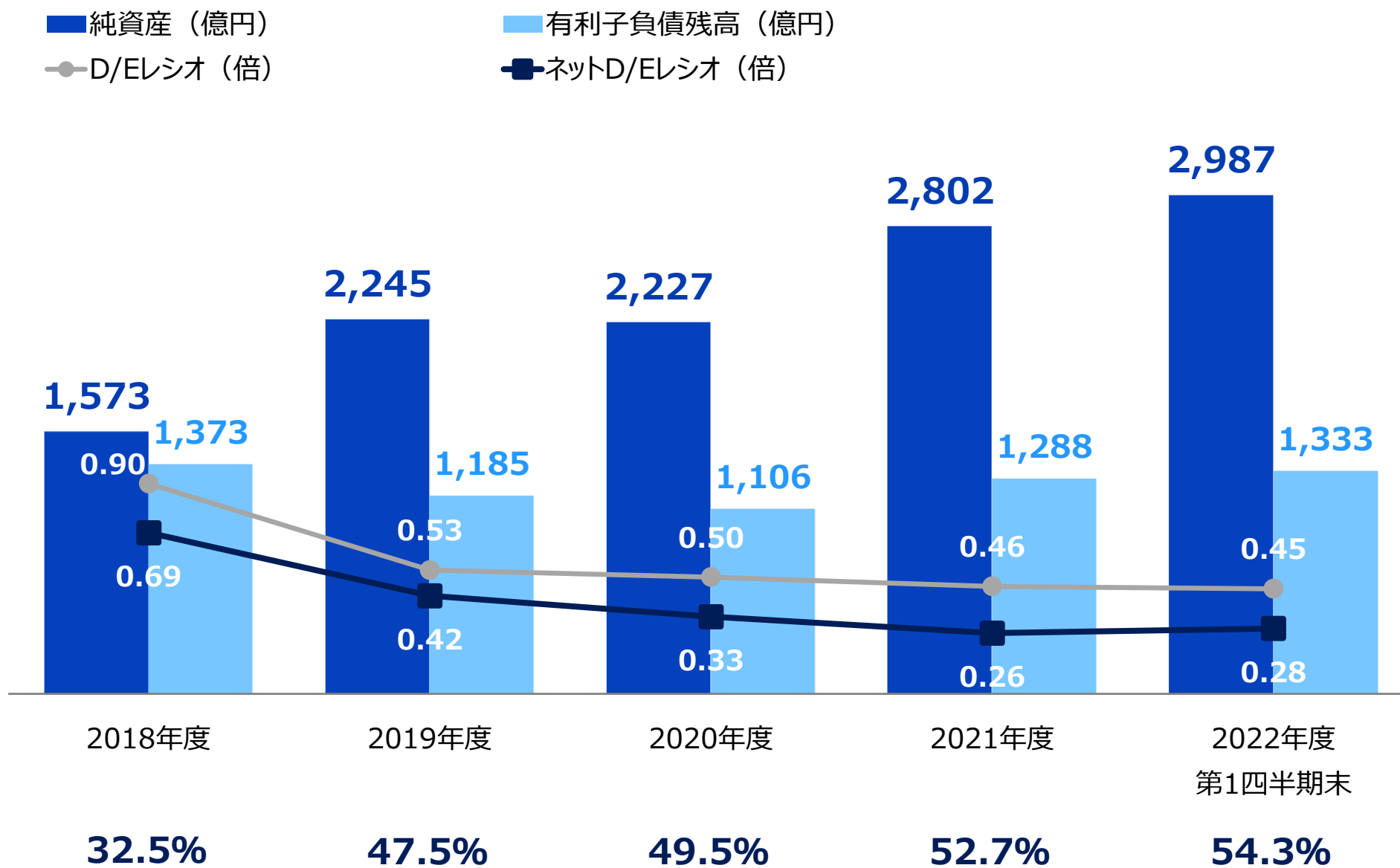
---

第1四半期時点計上率 = **23.3%**  
(内、タイヤ：23.4%/自動車部品他：22.0%)

(億円)

■ タイヤ ■ 自動車部品他







(百万円)	2022年度 1-3月実績	2015年度 通期累計	2016年度 通期累計	2017年度 通期累計	2018年度 通期累計	2019年度 通期累計	2020年度 通期累計	2021年度 通期累計
55棟	—	23,063	17,034	608	8,794	—	568	—
99棟	—	7,386	35,068	12,281	2,360	—	1,698	—
諸費用	136	12,104	10,418	3,156	4,858	3,365	3,507	989
補償費用等	—	4,119	4,260	2,590	1,516	645	1,406	94
合計	136	46,674	66,781	18,637	17,529	4,010	7,178	1,083

注) 55棟 : 2015年3月13日公表分、99棟 : 2015年4月21日公表分

## 項目内訳

<b>2022年度 1-3月実績</b>	55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費用は計上なし。 諸費用（主として免震ゴム対策本部人件費等）136百万円を計上。
<b>2022年度 4月以降</b>	現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用がある場合には、 対処進行状況等によって追加計上する可能性あり
<b>交換・改修の実績 (3月末日現在)</b>	55棟 (G039) : 54棟着工 (うち製品交換の完了 54棟) 99棟 (G039以外) : 97棟着工 (うち製品交換の完了 95棟)

再発防止策の進捗状況につきましては、四半期ごとに当社ホームページでの公表を継続して参ります。

IR情報 一覧 >

- 2022.03.07 更新情報 ▶ Financial Fact Book2021<Excel> (197KB) □
- 2022.03.07 更新情報 ▶ Financial Fact Book2021<PDF> (917KB) □ PDF
- 2022.03.01 更新情報 ▶ 第106回定時株主総会招集ご通知に際しての法令及び定款に基づくインターネット開示事項 (499KB) □ PDF

新型コロナウイルス感染拡大に関する対応 >      メールニュース配信登録 >

ⓘ 重要なお知らせ >      免震ゴム/防振ゴム問題への対応について >

## 免震ゴム/防振ゴム問題への対応について

このたびの免震ゴム問題、および防振ゴム問題により、多くの関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしていますことを心より深くお詫び申し上げます。一日も早くご負担の解消、問題の解決を実現できるよう真摯に尽力してまいります。これから、一人ひとりが固い意志を持って「再発防止の徹底と継続」に取り組み、そして、「世の中に求められる企業」に生まれ変わるよう、グループをあげて再生を果たしてまいります。

新着情報

2022.02.15 ページ更新 ▶ 免震ゴム問題の「交換・改修に向けた進捗について」を更新しました

- 免震ゴム/防振ゴム問題への対応について
- ▶ 信頼回復に向けて
- ▶ 免震ゴム問題への対応について
- ▶ 防振ゴム問題への対応について
- ▶ 関連プレスリリース
- ▶ 進捗報告

## 進捗報告

### ● 再発防止策の進捗について (2022年2月15日公表分)

#### 一 品質保証改善並びにコンプライアンス啓発強化

全事業にわたる全社的監査の継続 >

CI明石工場のコミュニケーション活動 >

品質保証・管理体制の構築 >

生産拠点における作業・監督体制/教育の継続 >

コンプライアンス強化徹底 >

#### 一 コーポレート基盤の継続的改善、充実

ガバナンスの強化徹底 >

不正行為の早期探知、危機管理の実践 >

社員教育の徹底と企業風土の抜本的改革 >

免震ゴム/防振ゴム問題への対応について → 進捗報告  
( <https://www.toyotires.co.jp/responsibility/progress/> )

**TOYO TIRES**

# 2022 SCORE SAN FELIPE 250

Victory in the Trophy Truck Spec Class



**OPEN COUNTRY M/T-R**

# ***TOYO TIRES***

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。